

まつり結び新聞

第1号

令和3年7月

お祭研究女子会

祝！創刊！

日本・世界の乙女たちによる
お祭りをと身近にする、まつり結び新聞

はじめまして。お祭研究女子会です!!
海外メンバーで今年6月に結成しました。
「まつり結び新聞」は、お祭りが大好きな学生・社会人・海外メンバーで今年6月に結成しました。
「まつり結び新聞」は、お祭りが大好きな学生・社会人・海外メンバーで今年6月に結成しました。

「まつり結び新聞」は、お祭りが大好きな学生・社会人・海外メンバーで今年6月に結成しました。
「まつり結び新聞」は、お祭りが大好きな学生・社会人・海外メンバーで今年6月に結成しました。



埼玉

獅子舞がくれる幸せと地元への誇り

～伝統を未来へ繋ぐ意義～

幼い頃から身近な存在であった地元
の獅子舞に、今年で四十四年目を
迎える。歴史の中で獅子舞は、
中々、長い歴史の中で獅子舞は、
この獅子舞は、歴史の中で獅子舞は、
この獅子舞は、歴史の中で獅子舞は、

獅子舞は、歴史の中で獅子舞は、
この獅子舞は、歴史の中で獅子舞は、
この獅子舞は、歴史の中で獅子舞は、
この獅子舞は、歴史の中で獅子舞は、



↑一匹ずつお腹に太鼓をつけるタイプの獅子舞です。
(埼玉県鴻巣市原馬宮・ささ獅子舞)



祭りが好きな理由

突然ですが、私は新潟の佐渡島が大好きです！
祖母の家があり、よく遊びに行っています。
魅力は、美しい自然、人の暖かさ、そして祭です。
佐渡島という地区の祭は、鬼と獅子が家を一軒ずつ回り、五穀豊穡を祈願して、太鼓と笛に合わせて踊ります。

新潟
「伝統の鬼太鼓と祖母との思い出」
写真は、佐渡島・鬼太鼓



よーちゃん

春日神社 オミヤクリン

毎月第三日曜日実施！
3歳から80歳の幅広い世代が行う神社清掃です！
落ち葉や枝をホウキや熊手で集めたり、みんなでお祭りで御神輿を担ぐために協力して、楽しく取り組んでいます。
清掃に取り組み高校生2人の感想です！
私は神社清掃が、バイクを某ジブリの如く引張り出したのが面白く仲間と達成感を味わえました。
仲間と語り合えるから、月一回の清掃が毎回楽しみでワクワクが止まりません！



ヒラリー

私たちが書きました!!

- なすー** (神奈川県横浜市・高校2年生)
- ゆかりん** (神奈川県横浜市・高校3年生)
- ヒラリー** (長崎県佐世保市・大学4年生)
- よーちゃん** (静岡県佐原市・社会人1年目)
- トネトネ** (埼玉県鴻巣市・社会人6年目)
- マリア** (イタリア・ラチオ市・会社員)



祭に参加したことないけど楽しく勉強したい!!



元気印としてお祭り上げたい!!



蚤から日本の伝統を体感したい!!



祭がある場所に住んでみたい!!

オミヤクリン

長崎

人と、地域と繋がる神社清掃、開始しました。
長崎県佐世保市春日神社の清掃活動が、今年4月に開始されました。
春日神社は、歴史の中で獅子舞は、この獅子舞は、歴史の中で獅子舞は、



(佐世保市春日神社・飯盛神社)

お祭研究女子会メンバー募集中!!
ご感想や「私も入りたい」というお声は、Instagramへ!
@matsuri-joshikai

「約束の日」のために、日々を大切にしよう

一般社団法人 明神代表理事 神輿修繕士 宮田 宣也 氏

今月の取材は 神輿好きの方!

好きな食べ物は「やまどり」
座右の銘は「かけた情けは水に流せ、受けた恩は石に刻め」

Q1 お祭やお神輿に興味を持ったきっかけはなんですか？
祖父の存在が大きいと思います。祖父は生前、病で右半身が動かせなくなりましたが、それでも祭りに足を運んでいました。ある祭りに参加した時、祖父は動きづらいうしろ側で神輿を担いだんです。そこには身体の不自由さを感じながらも、理屈のない世界があるのだと、雷震したのを覚えています。そこから一段と多くの人々を魅了する祭や神輿に興味を持ちました。

Q2 祭りに関して、宮田さんが大切にしている信念とは？
春日神社はすぐ近くにあるので、思い出さなくても場所が分かります。最後まで大切にしたいです。中でも一番大切な日である祭では最後の最後まで神輿を担いでいきたいというのが私の信念です。

Q3 今後、お祭はどんな姿になりたいと思いますか？
全国に祭があり、それを大切にしている人たちがいるのが、一概には言えません。ただ、今は祭がなくて寂しいけれど、それ以外の祭の日以外も充実させられれば、次に神輿を上げる日ももっと素敵なものになるし、たくさんの人と楽しさを共有できる。そんな風にみんなが少し見方も変えてくれれば、もっと祭が楽しめると思います。



祭に人生かけてます!!

(絵: Kappyさん)

Q4 あなたにとって祭とは？
祭の日ばかりが集まって、神輿を担いで最高の日を作り上げる。約束の日を果した日です。



60代から70代まで

誕生!! 昭和62年3月15日 横浜にこみし職人の家系に生まれる。魚料理が得意。	きっかけは... 東日本大震災の被災地へ向かい、地元の人たちの「祭がほしい」という声に答える。祭をつなげたい思いが強くなる。	活動の場を広げる! 全国各地の祭に参加。さらに海外でも日本文化を発信! 一般社団法人明神(アサキ)を設立。自身のドキュメンタリー映画まで作成した!	祭と復興! 「祭エンジンの運営スタート!」祭版ふるさと納税を立ち上げ、地域の祭、神社産業を支援する。	神社清掃々々 そして現在、コロナ禍でみこしが上がらない中、故郷の春日神社の神社清掃「オヤクリン」をスタート! その活動は全国各地にも広がっているんです!!
---	--	---	--	---

海外から見た日本の祭 ~From イタリア~



イタリア在住のマリアにインタビュー!!
Q 日本に興味を持ったきっかけは？
両親の影響です。よく日本の話を聞いていました。私は特に漢字に興味を持って、大学では日本学を専攻し北九州大学に留学もしました。



Q 祭を知ったきっかけは？
友達が福岡の山笠祇園神社のことを教えてくれました。祭は朝四時開始だったので深夜に北九州から福岡へ向かい初めて日本の祭を見たのです。これまで経験したことのない熱気と興奮に包まれ、祭のエネルギーを感じました。

Q 日本の祭のどんなところが好き？
神への信仰や、伝統祭の精神が素敵で、祭がもたらす一体感や前向きなエネルギーに私は魅了されています。また祭にまつわる伝統文化、職人技は世界に誇れることのできる芸術だと思っています。

Q 祭での思い出を一つ教えて下さい。
私にとっては二回目の祭である、小田原祭の宮入の瞬間が今も忘れられません。夜の提灯の光の下で甚句を歌いながら神社へ戻っていく光景が美しく、印象的でした。

Q イタリアにも祭はありますか？
南イタリアにも祭があり、マリア様やその他の聖人がイタリア風のお神輿に担がれています。

Q あなたにとっての祭とは？
守るべき文化遺産で、その大切さを忘れてはならないと思います。イタリア人は日本に興味がありますが、知られていないのはスシやラーメン、マンガです。私は祭や祭を通して学んだ日本文化や伝統の魅力をイタリアに伝えていきたいです。

祭エンジン

祭を愛する祭エンジンメンバーをご紹介します!!

雄勝法印神楽 上山正彦 さん



おじいさんの背中を追いかけて神楽師に。六百年のバトンを次につなげたい。震災後、祭は住民の生きがいだと感じ、人生をかけて神楽を守ると決めた、熱い祭男です。



詳しくは、こちら

祭親子コンテスト 実施中!!

Instagramから応募できます! (7/26まで)



＜当選賞品＞
・九十九島直送海産物セット
・のれん
・手ぬぐい
世界で1つのオリジナル染物職人が心を込めて作ります!!
その他豪華賞品も!

祭親子コンテスト Q で検索してね!

編集後記

今回のまつり結ひ新聞、いかがでしたでしょうか? 今回はオンラインで話し合いを一つのものを作り上げていくことの難しさ、それを乗り越えた達成感を感じました。また、宮田さんのお話を聞いて、日常のケの日をより大切に過ごしたいと考えたり、仲間の記事も読んでみて、お祭について様々なことを知ることができました。次回もまた、いろいろなことを学びたい!と、今から楽しみです。最後になりましたが、ここまで読んでくださりありがとうございました。次回もお楽しみに!!

